

血液型検査で困った！

◎井手 大輔¹⁾
近畿大学病院¹⁾

輸血療法において、血液型検査は最も重要な検査である。日常検査において、問題なく血液型を判定できる症例が多い。一方で、予期しない反応を認め判定に困る症例も存在する。オモテ・ウラ不一致、部分凝集、反応が弱い（無い）、予期しない反応があるなど判定ができない原因は様々である。本企画では、血液型判定に困った症例を提示し、問題解決から臨床への報告までの一連の流れを共有する。

連絡先-電話番号 072-366-0221